

## 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 ささゆり会	代表者	笹山 周作	法人・ 事業所 の特徴	小規模多機能ホームサンライフ岡田は、法人の4つの基本理念（①基本的人権の尊重、②健全育成・援護の実現、③社会的自立の助長、④地域福祉への貢献）のもと、利用者様が住み慣れた地域で継続して生活できるよう、利用者様・家族様の支援をおこなっています。
事業所名	小規模多機能ホーム サンライフ岡田	管理者	中野 雄介		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・ 地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	1人	2人	1人(文書のみ)	1人	人	4人	人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			地域資源の活用が出来なかったというアンケートを見て地域資源は何かなと思いました。聞いたことがない言葉でしたが話を聞いたら理解できました。一年に一度振り返りをされて、反省されることや何か気付かれることがあるのはいいことですね。	今後も事業所自己評価に取り組み、質の向上を目指していく。
B. 事業所のしつらえ・環境	新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策を徹底し、利用者様が安心して過ごせる施設の環境を作っていく。		事業所に入りやすい工夫はされていますか。 入口が3ヶ所ありますのでデイサービスが正面、小規模が左側、居宅が右側と貼紙をして間違えないようにしています。	感染症に考慮しながらも、利用者様や近隣の方が訪れやすい、開かれた施設を作っていく。
C. 事業所と地域のかかわり	コロナ禍があけたら、地域行事への参加や、地域の方を招いた行事の開催を行っていく。	新型コロナウイルスにより、地域への関りはほぼ出来ていない。	地域とのかかわりは自己評価でもあまりないというのが現状。	地域行事への参加や、地域の方を招いての行事を行っていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み			地域の行事やイベントには参加出来ていないのが現状。危機管理が各家庭によって違うので外出等の判断が難しい。	地域の行事やイベントには少しずつでも参加していく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	地域の方や、家族様、利用者様と情報交換を行い、共に課題が解決できるような場にしていく。	現場の職員が運営推進会議に交代で参加し、自分の思いなどを発言できるようになった。		引き続き、現場の職員が交代で会議に出られるようにし、意見を言えるようにする。

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>緊急時、しっかり行動できるよう、引き続き火災（昼・夜）の訓練のほか、水害対策や不審者対策などにも力を入れていく。</p>	<p>火災訓練に加え、洪水を想定した土嚢を使った訓練も行った。不審者対策も、カメラやセコムを活用し対策している。</p>	<p>災害時、事業所は頼りになりますか？ 大きな施設ではないので、多数の避難受け入れは難しいです。近くの系列施設との協力体制は出来ています。</p>	<p>定期的な避難訓練を行い、いざというときに迷わず行動できるようにしていく。地域の方の参加も検討していく。</p>
----------------------------	---	--	--	--